

玉村町 文化財通信

2023年12月7日発行

(次号1月発行予定)

第20号



～らよっとそこまで古探訪～



玉村町歴史どうぶつ散歩 Vol. 19

今回紹介するのは、オトカ塚古墳(下茂木)と小泉長塚1号古墳(小泉)の馬形埴輪です。どちらの古墳も、6世紀後半に造られたとされる古墳です。オトカ塚古墳出土の馬は高さが約140cmでとても大きく、国内最大級です。小泉長塚1号古墳の馬の高さは122cmです。どちらも鞍の表現はありませんが、馬鈴などの飾りの表現がある飾り馬です。革帯を格子状にめぐらせた珍しい馬装をしています。玉村町で出土している埴輪でどうぶつは、今のところ馬だけです。

馬形埴輪は、5世紀になると造られるようになりました。被葬者の権威を誇示するものとして盛んに造られました。古墳時代、馬はとても貴重などうぶつであったため、財力や地位の高さを示す象徴でした。

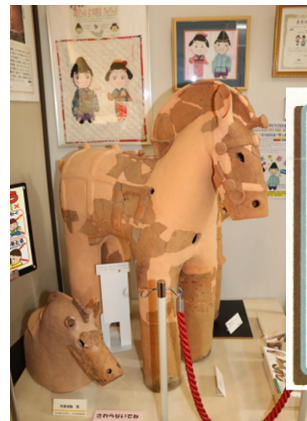
『日本書紀』では、^{くだらのこにしきうじ} 応神天皇のときに百済王^{うまや}氏から良馬が2頭おくれ、大和の厩(馬屋)で飼ったと書かれています。日本にウマが導入されたのは、5世紀ごろの古墳時代になってからで、朝鮮半島を経て入ってきました。

古墳時代の遺跡からは、埋葬された馬も出土しています。馬の埴輪もたくさん出土し、日本で馬の飼育が盛んになったことがわかります。

この2体の馬形埴輪は、歴史資料館に展示してあります。ぜひ、大きさや飾りの細かさを見てください。あわせて、他の出土品もご覧ください。



画:中村優希



画:八木明希

重田家住宅大掃除

参加者募集!

お手伝い求めています!

日時: 12月20日(水) 午前9時30分~11時

場所: 国登録有形文化財 重田家住宅

(玉村町小泉42番地)

内容: 重田家住宅の大掃除を行います。

汚れても良い服装でご参加ください。

- ・雑巾等のお掃除道具をお持ちください。
- ・直接、重田家住宅へお越しください。
- ・途中参加、途中離脱可能ですので、無理のない範囲でご参加ください。
- ・ボランティア活動になります。
- ・重田家住宅家庭科部の活動日ですが、美化部、園芸部、企画部合同の活動です。

重田家住宅

～公開・活用にむけて②～

主屋にある約100年前のピアノですが、現在専門業者の元でオーバーホール中です。今年度末には修理・点検が完了し、リニューアルピアノのお披露目コンサートを実施予定です。その後は、レガシーピアノを利用したミニコンサートなど貸館の幅を広げた利用が可能になります。ご興味ある方は来年度の貸館案内をお待ち下さい。

(重田家住宅管理担当者)

今年度通常公開情報: 平日の水・木・金曜日、毎月第4土曜日 10:00~16:00(最終入館は15:30まで) なお、夜間の催事等はその都度対応します。都合により臨時休館あり。

南中学校職場体験レポート

11月14日(火)～16日(木)の3日間、玉村南中学校2年生の生徒4名が文化財係へ職場体験に訪れました。重田家住宅での清掃作業を中心に取り組みました。

感想

2年 柴山凌空 君

「文化財係で驚いたのは本が多数あったことです。群馬県に関する歴史書がとて有ることがわかります。歴史資料館の裏側も見学でき、貴重な文化財が多数ありました。」

2年 中村優希 君

「今回の職場体験を通して『自分はやっぱりこういう昔の物とか古い物事が好きなんだな』と改めて感じました。蔵などの少々環境が良くない場所にもあまりちゅうちょせず入れたのは、やはり自分がそういうものを好きだからだと思います。また、仕事の意味やその仕事をしている人の思いなどを近くで感じられて、良い経験になったと思います。」

2年 三谷夏芽 さん

「あまり聞いたことのない仕事名だったので、初めて名前を見た時、興味を持ちました。私は古い物が好きで、レトロな物に触れられるのが楽しかったです。アルバイトや再体験ではできない仕事だったので、体験できてよかったです。」

2年 八木明希 君

「3日間職場体験で、どう昔の物品を見つけるのかと、管理の方法を詳しく教わりました。特に大変だったのが重田家の蔵の掃除でしたが、貴重なものが多く見られる貴重な体験ができました。」

3日間大変お疲れ様でした！



(写真左から 八木君、中村君、三谷さん、柴山君)

12/23
(土)

重田家住宅「ふみの日」イベント 手紙を書こう！

毎月23日は「ふみの日」。築140年の古民家で大切な人へお手紙を書いてみませんか？

【開催時間】午前10時～正午

【場所】国登録有形文化財 重田家住宅
(玉村町小泉42番地)

参加無料

【ご案内】

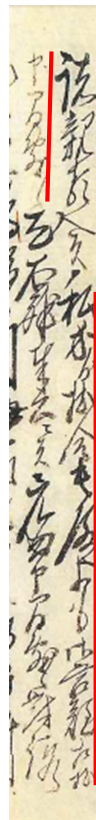
- ・レターセット・ペンはご用意します。使いたいレターセット・ペンがあれば各自持参してください。
- ・切手はご用意しておりません。
- ・主屋、庭等好きなスペースでお書きください。
- ・温かいお飲み物をご用意します。
- ・予約不要です。直接お越しください。(お席は先着20席です。)
- ・公開日のため、見学者が立ち入ることがあります。
- ・子どもから大人まで参加可能です。

問合せ：玉村町生涯学習課文化財係 0270-30-6180

古文書を読んでみよう！

幕末の玉村の中心的人物であった渡邊三右衛門陳好の記録である『三右衛門日記』の中の「女子引取一札」を毎回少しずつ読んでいきます。

第二〇回目はこの文章を読んでいきましょう。



書き下し文：私方より掛合貴殿へ少も御苦難相掛申間敷候、読み方：わたくしがたよりかけあいきでんへすこしもごくなんあいかけまじくそうろう、現代語訳：私方より話し合い、あなた(旅籠屋の主人)へ少しも難儀を掛けないつもりなので

(次号へ続く)

○玉村町誌別巻Ⅳ(三右衛門日記一)と別巻Ⅷ(三右衛門日記五) 歴史資料館にて好評発売中！

☆ 発行 ☆

玉村町生涯学習課文化財係・玉村町歴史資料館 (電話) 0270-30-6180
☎370-1105 群馬県佐波郡玉村町大字福島 325 番地 玉村町文化センター内

